

学校名	東広島市立向陽中学校	校長	植田 昌広	生徒指導主事	二川 義美
-----	------------	----	-------	--------	-------

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

取組事例名		『小中連携における先輩おしえての取組』			
取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「知識・情報」	1	「思考力・判断力・表現力」	2
取組のねらい					
<ul style="list-style-type: none"> ・小中の児童会生徒会の活動を通じて、中学校への進学不安を解消し、小学生に中学校とのつながりを感じさせ、4月によいスタートが迎えられるようにする。 ・生徒会新執行部の最初の活動として、向陽中学校のリーダーとしての自覚と先輩としての思いを伝える経験をすることで自信を深める。 ・小中連携の一環として、教職員間で系統的に指導にあたるべき生徒指導上の指導内容を共有する。 					
取組の具体的内容			取組の創意工夫 『キーワード 小中接続』		
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会と部長会で趣旨の確認（11月） ・向陽中学校への進学にあたり、知りたいことや不安解消するためのアンケートを生徒会長が小学生に依頼 ・小学生にアンケート実施（各小学校） ・アンケートの集約と回答文書作成（新生徒会） ・リハーサルの実施 ・「先輩おしえて」当日 			<p>「不安解消」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が質問を考える際、中学校生活をイメージしやすいよう中学校での生活や部活動の写真を入れたビデオを作成する。 <p>「情報・表現・コミュニケーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生に中学校の生活がわかりやすく伝わるよう、回答内容を吟味する。 ・小学生に伝わりやすいように、発言時の声の大きさや速さを考える。 ・振り返りを行い、うまく表現できなかったところや時間の都合で割愛した質問を掲示物にして各小学校に配布する。 		
 					
<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り  					
取組の成果と課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・双方向でのコミュニケーションの経験と不安や疑問点を直接聞くことができ、小学生の不安軽減につなげることができた。 ・新生徒会執行部の最初の活動でもあり、4月から新たな仲間として迎える小学生に安心して「中学校に進学してもらいたい」と先輩としての自覚と伝える力を高めることができた。 ・コロナ禍の中で、中学校の行事への参観制限、新入生説明会の時間短縮など、中学校を知る機会がなくなっている。学校生活や授業の様子などビデオを見るなどの内容と取扱時間の工夫が必要である。 					